

多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー 102-105
多摩美術大学 八王子キャンパス — From Ireland to Amami Islands —

人類は何を表現してきたのか？ What did human beings express?

2018 6.16 sat - 6.30 sat

企画・主催: 多摩美術大学 芸術人類学研究所
Planning/Host: Institute for Art Anthropology, Tama Art University

はじまりの線刻画

—アイルランド・スカンジナビアから奄美群島へ—

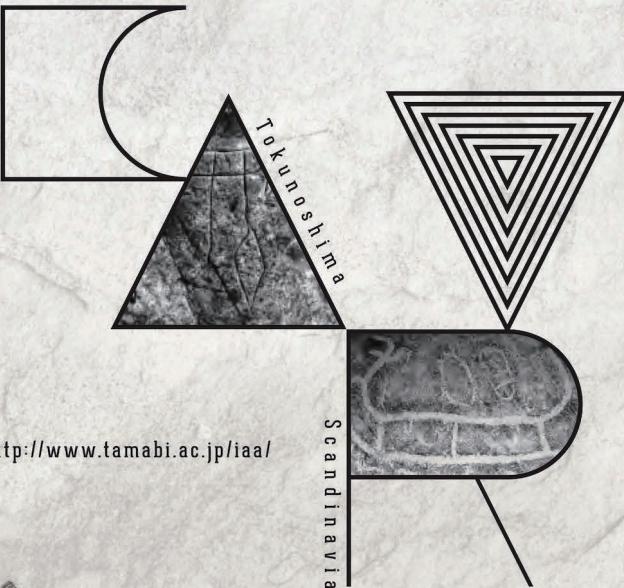
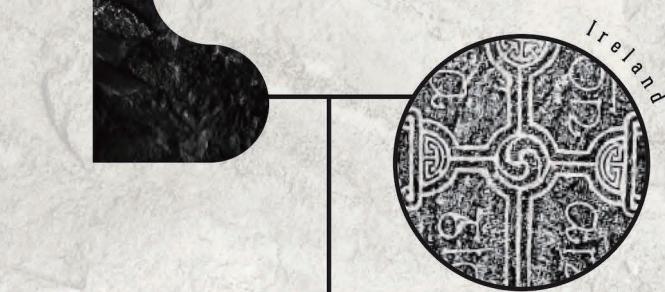
Tama Art University Hachioji Campus Art-Theque Gallery 102-105

|| R E L A N D ||

共催: 上智大学グリーフケア研究所・身心変容技法研究会(代表: 鎌田東二)
協力: 齋藤五十二、鹿児島県徳之島天城町教育委員会、Live Forever Foundation、株式会社ゼロユニット
キュレーター: 渡辺真也
後援: アイルランド大使館、カフェ・バッハ

多摩美術大学 八王子キャンパス

アートテーク・ギャラリー 102-105



<http://www.tamabi.ac.jp/iaa/>



OPEN: 10:00 - 18:00 CLOSE: Sunday admission free

開館時間 10:00 - 18:00 休館日 日曜日 入場無料

展覧会概要

このたび、多摩美術大学・芸術人類学研究所は、本邦初となる展覧会「はじまりの線刻画 —アイルランド・スカンジナビから奄美群島へ—」を、上智大学グリーフケア研究所・身心変容技法研究会との共催で実現する運びとなりました。

本展では、1970 年代から 90 年代に大野忠男氏(画家・美術史家、1932-2010)・齊藤五十二氏(書家、1953-)がアイルランドとスカンジナビアで採取した「ケルト十字架」と「岩絵」の拓本コレクションを中心に紹介いたします。また、芸術人類学研究所が近年共通テーマに掲げる「土地と力」やユーロ=アジア文明の古層にある「死生観」を再発見するために、奄美群島の線刻画や現代美術にまで拡大し展示いたします。

拓本の元となった遺跡は、紀元前 8000 年頃から紀元 12 世紀頃におよぶものです。現地の石は経年変化によって風化していく危機的状況にあるため、約 40 年前に採取されたこれらの拓本は芸術的・人類学的にみても大変貴重な資料となっています。

この貴重なコレクションから、人類の芸術の根源にある「文様と文字」を学び、鑑賞者の皆さまの豊かな想像力に、あらたな光がうまれることを願っています。



ニューグレンジ古墳石室内の渦巻文様(アイルランド)



飯田昭二 《Half and Half》
1968/2008 年



照屋勇賀 《Current》
2009 年



松澤宥によるパフォーマンス
(写真: 長沼宏昌)



渡辺真也 映画『神の唄』第 1 章より
2018 年

見どころ

1. 「ケルト十字架」「岩絵」にみる文様とシンボルを一堂に展示

アイルランド・スカンジナビにおいて、1970 年代から 90 年代に画家・大野忠男と書家・齊藤五十二により和紙と墨で採取された「ケルト十字架」「岩絵」の拓本コレクションから約 70 点を一堂に展示。

2. 先史芸術と現代美術がコラボレーション

国内外で活躍するキュレーター・渡辺真也のキュレーションによって、アイルランド・スカンジナビの先史芸術と日本現代美術がクロスする展覧会。

【展示作家】朝崎郁恵、飯田昭二、松澤宥、照屋勇賢、渡辺真也ほか

3. 徳之島の線刻画拓本を初公開

本展のために、新たに採取した奄美群島・徳之島の線刻画拓本を初公開。

4. トーク・コンサートイベント

トーク・ディスカッション、さらに奄美大島の唄者によるシマ唄コンサートも開催。展示会場に生のシマ唄が響くスペシャルな空間を創造。

関連イベント

●キュレータートーク+奄美シマ唄ミニコンサート

日 時 | 6月 16 日（土） 15:00～16:00

会 場 | 多摩美術大学 アートテーク・ギャラリー 105 参加費 | 無料・申込不要

出 演 | 渡辺真也（本展キュレーター、映画監督）、成瀬茉倫（映画『神の唄』アマミコ役）

●トーク「ユーロ=アジア文明の古層にある土地の力」

日 時 | 6月 22 日（金） 14:45～16:30

会 場 | 多摩美術大学 アートテーク・ギャラリー 105 参加費 | 無料・申込不要

出 演 | 鶴岡真弓（多摩美術大学教授・芸術人類学研究所所長、ケルト芸術文化研究家）

港千尋（多摩美術大学教授、写真家、著述家）

安藤礼二（多摩美術大学教授、文芸評論家）

●ディスカッション+奄美シマ唄コンサート「アイルランドから奄美群島へ」

日 時 | 6月 29 日（金） ディスカッション：14:45～16:15、コンサート：16:15～17:00

会 場 | 多摩美術大学 アートテーク・ギャラリー 105 参加費 | 無料・申込不要

出 演 | 齊藤五十二（書家、東華書院会長、線刻画拓本採取・所蔵者）

鎌田東二（上智大学グリーフケア研究所特任教授）

ピーター・マクミラン（翻訳家）

鶴岡真弓（多摩美術大学教授・芸術人類学研究所所長、ケルト芸術文化研究家）

渡辺真也（本展キュレーター、映画監督）

朝崎郁恵（奄美シマ唄唄者、NHK『新日本風土記』テーマ曲作詞・唄）

展覧会概要

展覧会名	はじまりの線刻画 —アイルランド・スカンジナビアから奄美群島へ—
会期	2018年6月16日(土)～6月30日(土)
開館時間	10:00～18:00
休館日	日曜日(6月17日、6月24日)
観覧料	無料
会場	多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー102～105
主催	多摩美術大学 芸術人類学研究所(所長:鶴岡真弓)
共催	上智大学グリーフケア研究所・身心変容技法研究会(代表:鎌田東二)
キュレーター	渡辺真也
後援	アイルランド大使館、カフェ・バッハ
協力	齊藤五十二、本阿弥清、一般財団法人 松澤宥普サイの部屋、鹿児島県徳之島天城町教育委員会、Live Forever Foundation、株式会社ゼロユニット
お問い合わせ	042-679-5697(多摩美術大学 芸術人類学研究所)

アクセス

- JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約8分
- JR 八王子駅南口から京王バス「多摩美術大学行」で約20分



※アクセス情報 <http://www.tamabi.ac.jp/access/> ※大学内に一般用の駐車場はございません。

報道関係のお問い合わせ

多摩美術大学 芸術人類学研究所 (IAA) 〒192-0394 東京都八王子市鑓水 2-1723
TEL : 042-679-5697 (平日 10:00～18:00) FAX : 042-679-5698 Email : iaa_info@tamabi.ac.jp
URL : <http://www.tamabi.ac.jp/iaa/>